第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）4

座長:伊藤正憲(土木),鹿毛忠継(建築)
2024年6月27日(木) 13:15 〜 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1237]炭酸カリウム溶液による再生骨材および小型壁試験体への CO_2固定化手法に関する検討

山﨑順二[1], 荒木朗[1], 林俊斉[2], 鈴木好幸[2] (1.淺沼組 2.安藤ハザマ)

キーワード：環境配慮型コンクリート、CO2固定、K2CO3、炭酸化、再生骨材、給水養生

本研究では，コンクリートのカーボンニュートラル化に資する技術として，コンクリートの使用材料および硬化後のコンクリートに CO_2を吸収・固定させる手法について検討している。本報では，炭酸カリウム溶液を用いて再生骨材に CO_2を固定化し，その再生骨材を用いたコンクリートの給水養生により硬化後にも CO_2を固定化させる手法について，小型壁試験体を作製して実験を行い検討した。実験の結果，透水性を高めたコンクリートに給水養生を行うことで CO_2の固定化が促進され，再生骨材への炭酸化と合わせて最大で59 kg/m³の CO_2固定量が得られた。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会